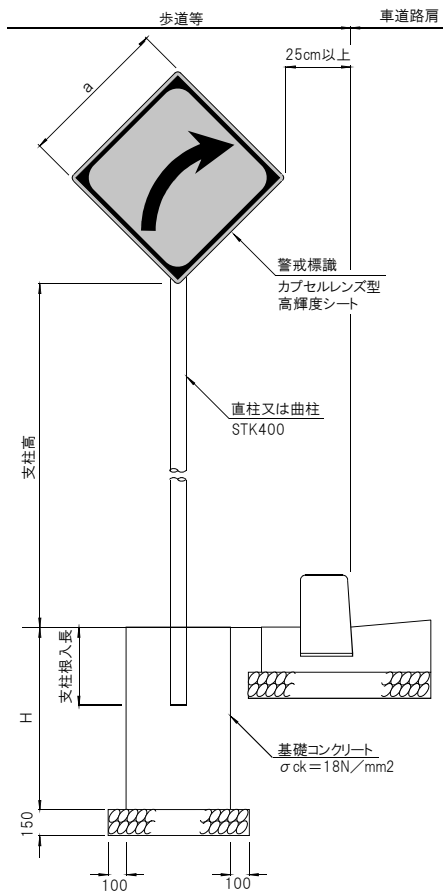


# 第6章 安全施設工

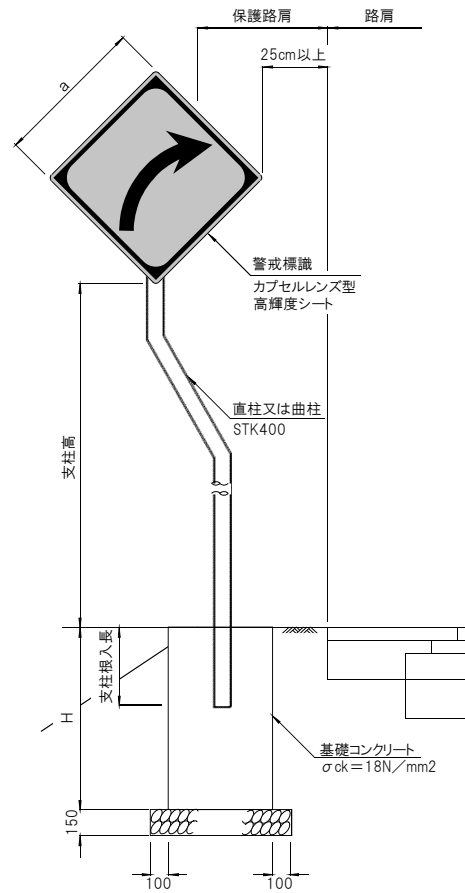


# 警戒標識 WS

歩道等に設置する場合



保護路肩等に設置する場合



## 注意事項

- 警戒標識板の倍率は、表-1のとおりとする。
- 警戒標識板は、カプセルレンズ型（高輝度シート）を標準とする。
- 標識を歩道等（歩道、自転車道、自転車歩行者道をいう。以下同じ。）に設置する場合で、路上施設を設置するための帯状の部分がなく、かつ十分な歩道等の幅員を確保できない場合は、支柱高を2.5mとする。
- 寸法表の基礎形状は、方形、円形（スパイラルダクト）によらず適用できる。
- 保護路肩等に基礎を設置（基礎が法面からはみ出る）する場合は、実際の設置箇所に応じて安定計算を行い、断面が不足していないか確認すること。
- 基礎が舗装面に埋設される場合には、舗装部分の抵抗を考慮に入れ、基礎の高さを70%まで低減したH'としてよい。

表-1

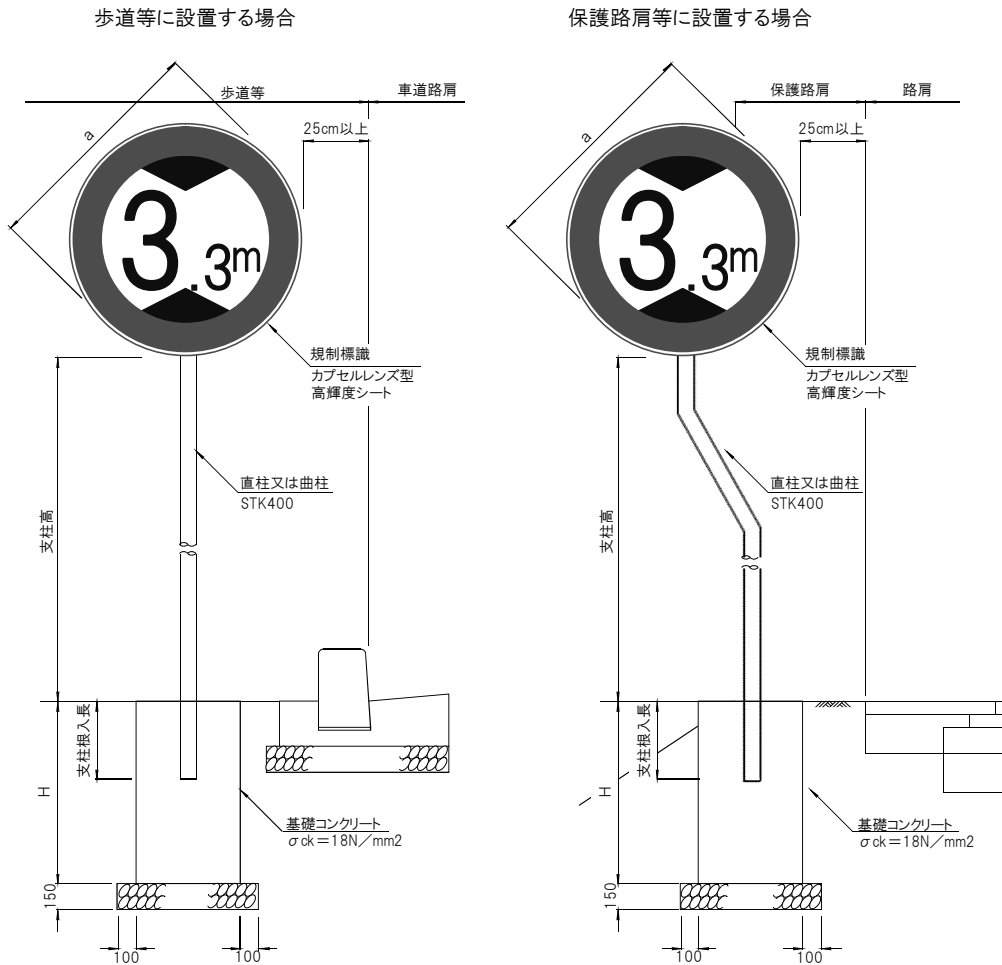
道路種別	標識倍率		
	1.3倍	1.6倍	2.0倍
地域高規格道路			○
その 他路	一般国道	○	
	主要地方道	○	△
	一般県道	○	△
市町村道	○	△	

△……4車線道路の場合、1.6倍可

## 寸法表

標識枚数	標識倍率	支柱高 (mm)	寸法表												
			標識板及び支柱			基礎幅300mmの場合		基礎幅400mmの場合		基礎幅500mmの場合		基礎幅600mmの場合		基礎幅800mmの場合	
			a (mm)	支柱 外径×肉厚 (mm)	支柱 根入長 (mm)	H (mm)	H' (mm)	H (mm)	H' (mm)	H (mm)	H' (mm)	H (mm)	H' (mm)	H (mm)	H' (mm)
1枚	1.3	2500	585	60.5×2.3	200	1100	800	1000	700	800	600	600	500		
	1.6		720	76.3×2.8	200	1200	900	1100	800	900	700	800	600		
	2.0		900	89.1×3.2	200			1300	1000	1100	800	1000	700		
	1.3	1800	585	60.5×2.3	200	900	700	800		600					
	1.6		720	76.3×2.8	200	1200	900	1000		900		700	500		
	2.0		900	76.3×2.8	200			1200		1000		800	600		
2枚	1.3	2500	585	89.1×3.2	200			1200	900	1000	700	900	700		
	1.6		720	101.6×4.2	300			1400	1000	1200	900	1100	800	800	600
	2.0		900	114.3×4.5	300					1500	1100	1400	1000	1100	800
	1.3	1800	585	76.3×2.8	200	1200	900	1100	800	900	700	800	600		
	1.6		720	89.1×3.2	200			1300	1000	1200	900	1000	700		
	2.0		900	101.6×4.2	300			1600	1200	1500	1100	1300	1000	1000	700

# 規制標識 RS



## 注意事項

- 規制標識板の倍率は、表-2のとおりとする。ただし、自転車専用（標識番号325の5）、自転車及び歩行者専用（標識番号325の3）、歩行者専用（標識番号325の4）については、1.0倍とする。
- 規制標識板は、カプセルレンズ型（高輝度シート）を標準とする。
- 標識を歩道等（歩道、自転車道、自転車歩行者道をいう。以下同じ。）に設置する場合で、路上施設を設置するための帯状の部分がなく、かつ十分な歩道等の幅員を確保できない場合は、支柱高を2.5mとする。
- 寸法表の基礎形状は、通行止め（標識番号301）～歩行者専用（標識番号325の4）までを対象としており、方形、円形（スパイラルダクト）によらず適用できる。
- 保護路肩等に基礎を設置（基礎が法面からはみ出る）する場合は、実際の設置箇所に応じて安定計算を行い、断面が不足していないか確認すること。
- 基礎が舗装面に埋設される場合には、舗装部分の抵抗を考慮に入れ、基礎の高さを70%まで低減したH'としてよい。

表-2

道路種別		標識倍率		
		1.0倍	1.5倍	2.0倍
地域高規格道路				○
そ道の 他路	一般国道		○	
	主要地方道	○	△	
	一般県道	○	△	
	市町村道	○	△	

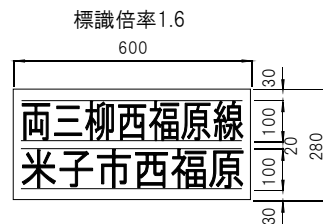
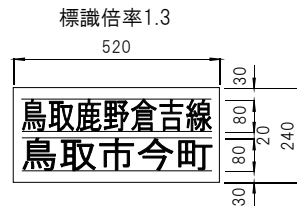
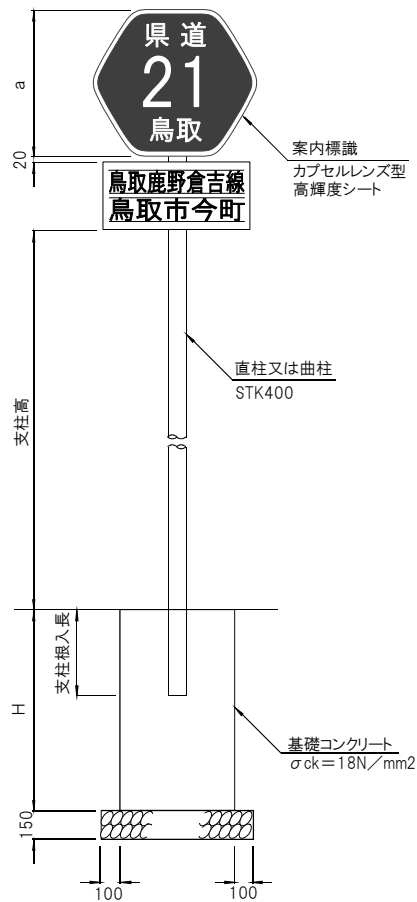
△…4車線道路の場合、1.6倍可

寸法表

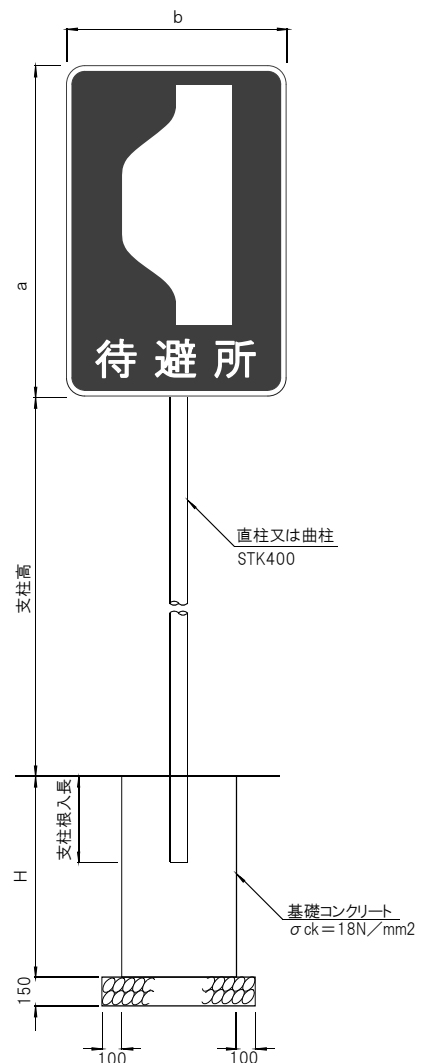
標識枚数	標識倍率	支柱高 (mm)	寸法表												
			標識板及び支柱			基礎幅300mmの場合		基礎幅400mmの場合		基礎幅500mmの場合		基礎幅600mmの場合		基礎幅800mmの場合	
			a (mm)	支柱 外径×肉厚 (mm)	支柱 根入長 (mm)	H (mm)	H' (mm)	H (mm)	H' (mm)	H (mm)	H' (mm)	H (mm)	H' (mm)	H (mm)	H' (mm)
1枚	1.0	2500	600	60.5×2.3	200	1000	700	900	700	700	500	600	500		
	1.5		900	76.3×2.8	200	1200	900	1100	800	900	700	800	600		
	2.0		1200	101.6×4.2	300			1400	1000	1300	1000	1100	800	80	100
	1.0	1800	600	60.5×2.3	200	800	600	800	600						
	1.5		900	76.3×2.8	200	1200	900	1000	700	900	700	700	500		
	2.0		1200	89.1×3.2	200			1300	1000	1100	800	1000	700		
2枚	1.0	2500	600	76.3×2.8	200	1200	900	1100	800	900	700	800	600		
	1.5		900	101.6×4.2	300			1500	1100	1400	1000	1200	900	90	100
	2.0		1200	114.3×4.5	300					1600	1200	1400	1000	110	100
	1.0	1800	600	76.3×2.8	200	1200	900	1000	700	900	700	700	500		
	1.5		900	89.1×3.2	300			1400	1000	1300	1000	1100	800	80	100
	2.0		1200	101.6×4.2	300			1600	1200	1400	1000	1300	1000	100	100

# 案内標識 IS

都道府県道番号(標識番号118の2-A)  
地名(標識番号512)

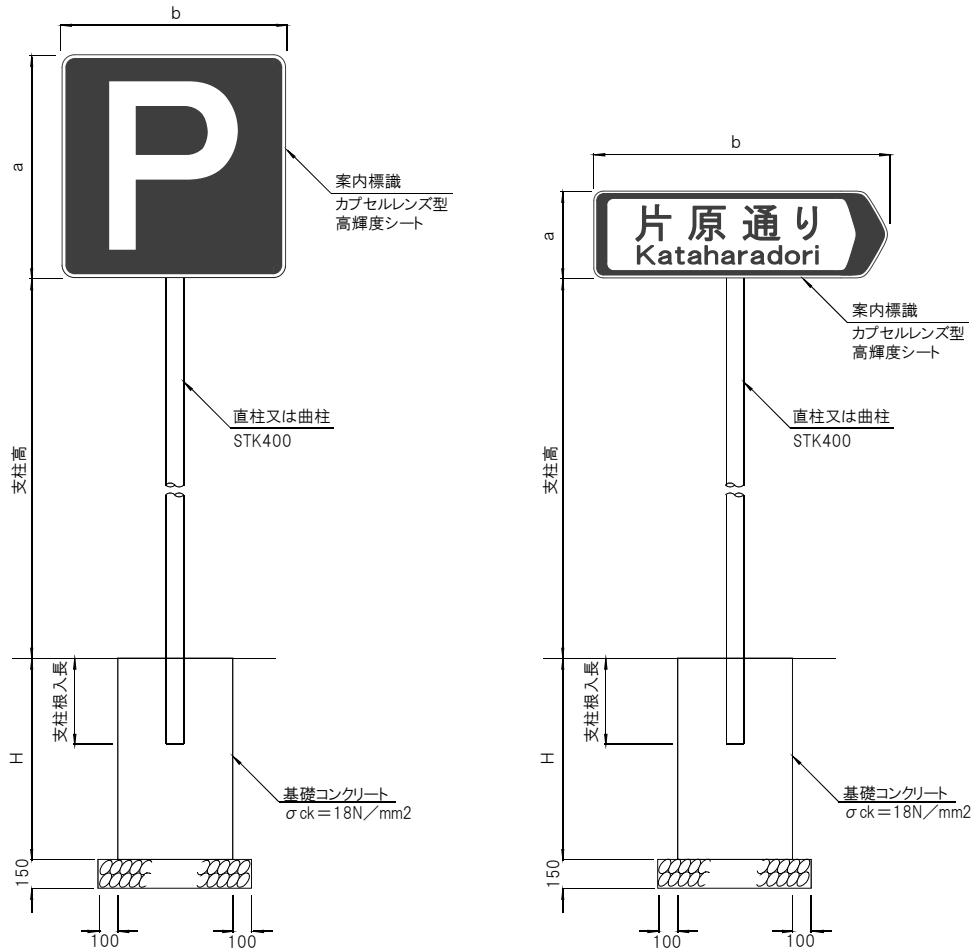


待避所(標識番号116の3)



駐車場(標識番号117-A)

道路の通称名(標識番号119-A)



**注意事項**

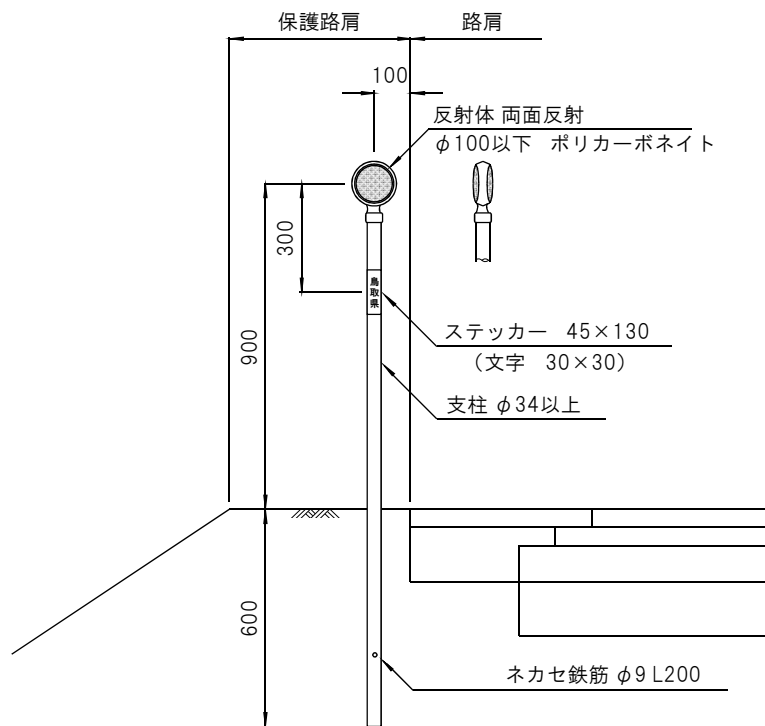
- 案内標識板の倍率は、4車線道路の場合は1.6倍とし、それ以外の場合は1.3倍とする。
- 案内標識板は、カプセルレンズ型(高輝度シート)を標準とする。
- 標識を歩道等(歩道、自転車道、自転車歩行者道をいう。以下同じ。)に設置する場合で、路上施設を設置するための帯状の部分がなく、かつ十分な歩道等の幅員を確保できない場合は、支柱高を2.5mとする。
- 寸法表の基礎形状は、方形、円形(スパイラルダクト)によらず適用できる。
- 保護路肩等に基礎を設置(基礎が法面からはみ出る)する場合は、実際の設置箇所に応じて安定計算を行い、断面が不足していないか確認すること。
- 基礎が舗装面に埋設される場合には、舗装部分の抵抗を考慮に入れ、基礎の高さを70%まで低減したH'としてよい。

寸法表

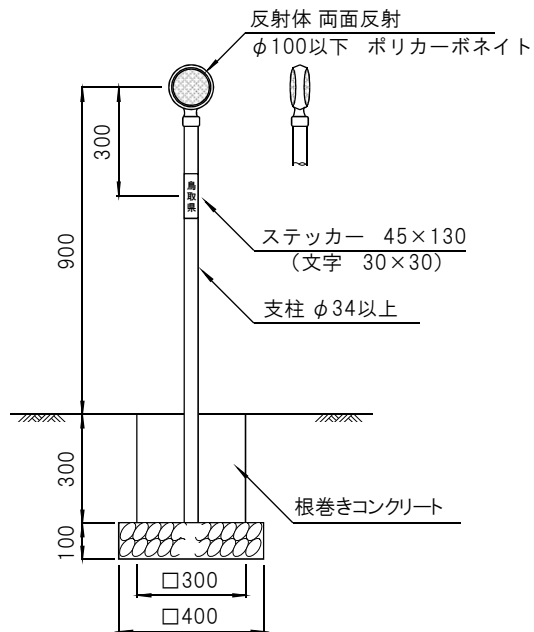
標識種別	標識倍率	支柱高 (mm)	寸法表											
			標識板及び支柱				基礎幅300mmの場合		基礎幅400mmの場合		基礎幅500mmの場合		基礎幅600mmの場合	
			a (mm)	b (mm)	支柱 外径×肉厚 (mm)	支柱 根入長 (mm)	H (mm)	H' (mm)	H (mm)	H' (mm)	H (mm)	H' (mm)	H (mm)	H' (mm)
県道番号 (118の2-A) 地名 (512)	1.3	2500	507		60.5×2.3	200	1100	800	1000	700	800	600	600	500
	1.6		624		76.3×2.8	200	1200	900	1000	700	900	700	700	500
	1.3	1800	507		60.5×2.3	200	900	700	800	600	600	500		
	1.6		624		76.3×2.8	200	1100	800	1000	700	800	600	600	500
待避所 (116の3)	1.3	2500	1170	780	101.6×3.2	200			1300	1000	1200	900	1000	700
	1.6		1440	960	101.6×4.2	300			1500	1100	1400	1000	1200	900
	1.3	1800	1170	780	76.3×2.8	200			1200	900	1100	800	900	700
	1.6		1440	960	89.1×3.2	300			1400	1000	1300	1000	1100	800
駐車場 (117-A)	1.3	2500	780	780	76.3×2.8	200	1200	900	1100	800	900	700	800	600
	1.6		960	960	89.1×3.2	200			1300	1000	1100	800	1000	700
	1.3	1800	780	780	76.3×2.8	200	1200	900	1000	700	900	700	700	500
	1.6		960	960	76.3×2.8	200			1200	900	1100	800	900	700
道路の通称名 (119-A)	1.3	2500	312	1040	60.5×2.3	200	1000	700	900	700	700	500	600	500
	1.6		384	1280	76.3×2.8	200	1200	900	1000	700	900	700	700	500
	1.3	1800	312	1040	60.5×2.3	200	900	700	800	600	600	500		
	1.6		384	1280	60.5×2.3	200	1100	800	1000	700	800	600	600	500

# デリニエーター D1(土中建込)

土中用



コンクリート基礎用

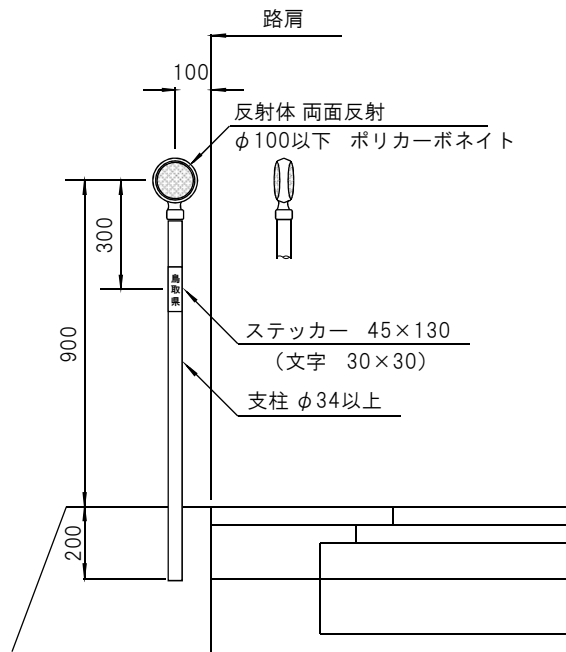


## 注意事項

1. デリニエーターは木製を標準とし、鳥取県認定グリーン商品の使用を原則とする。

# デリニエーター D2(コンクリート建込)

コンクリート用



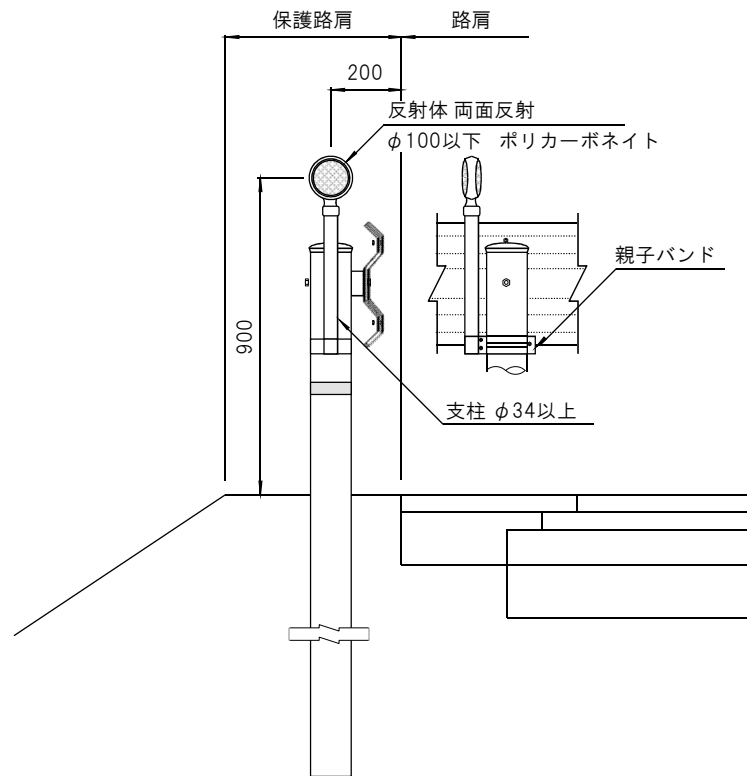
## 注意事項

1. デリニエーターは木製を標準とし、鳥取県認定グリーン商品の使用を原則とする。

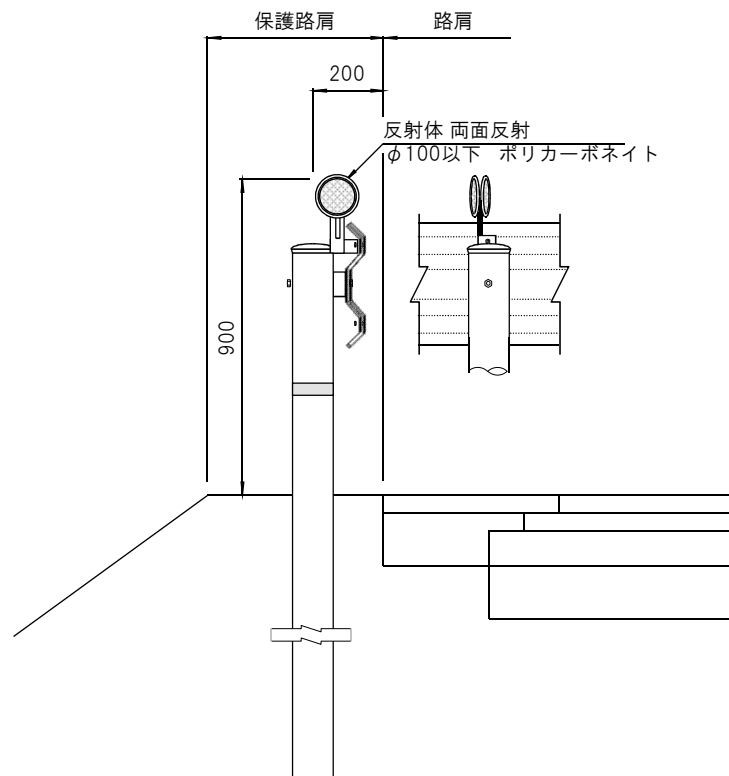


# デリニエーター D3(防護柵取付)

バンド式



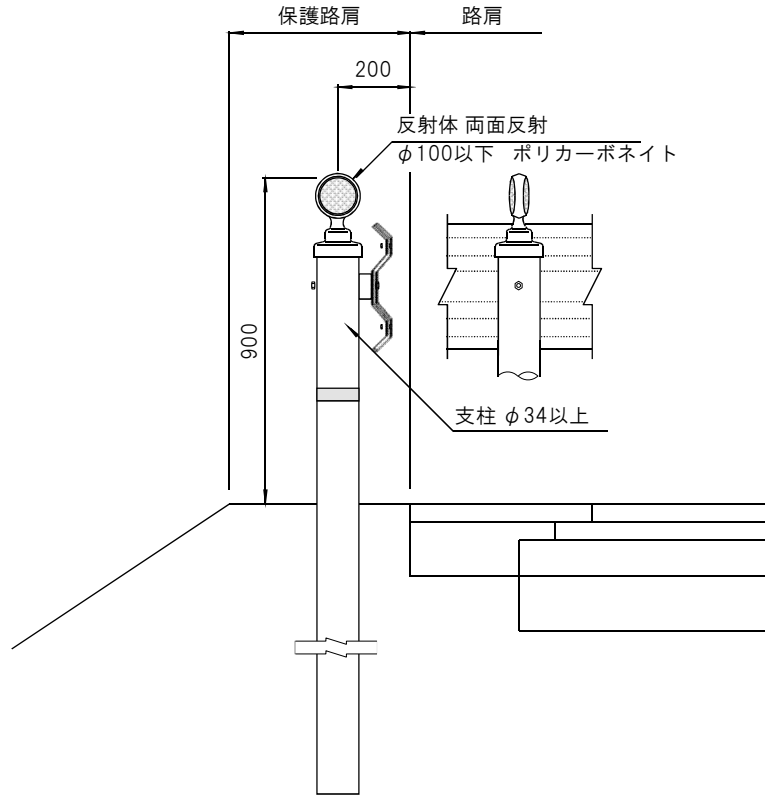
ボルト式



## 注意事項

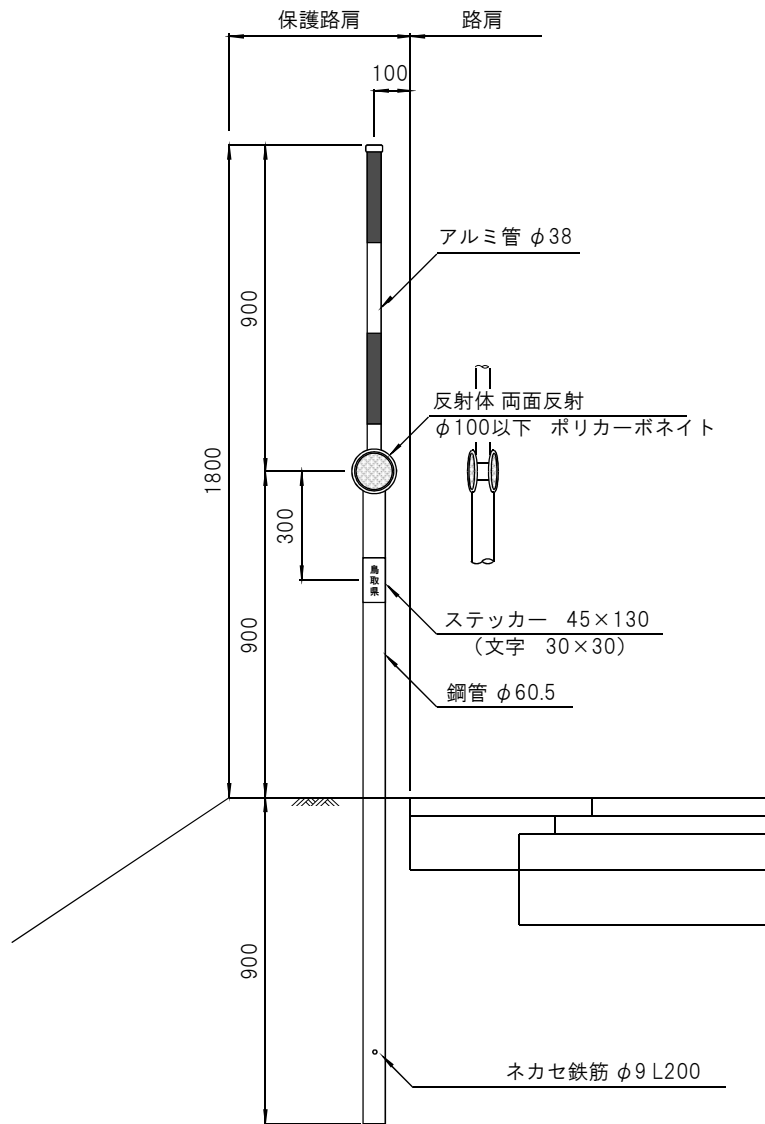
1. デリニエーターは木製を標準とし、鳥取県認定グリーン商品の使用を原則とする。

# かぶせ式



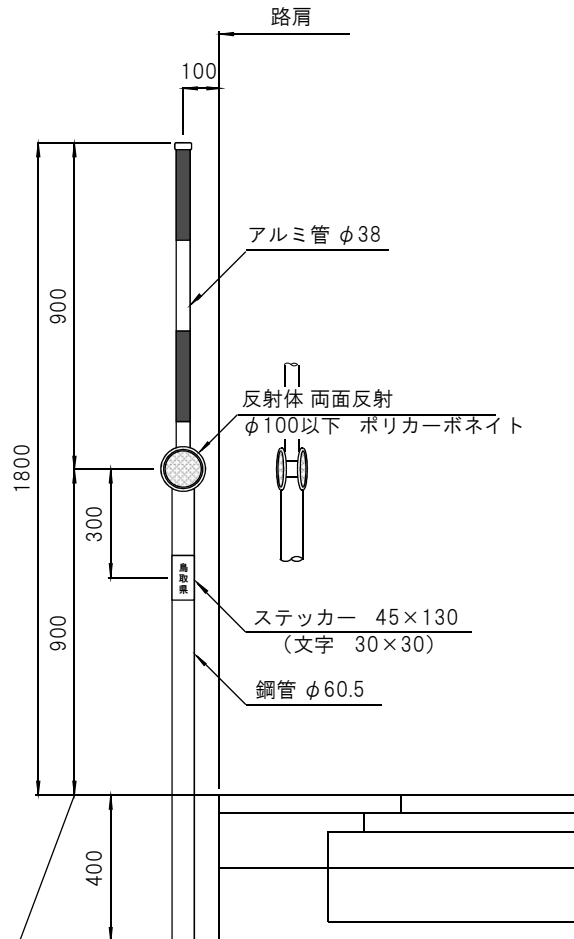
# スノーポール兼用デリニエーター D4(土中建込)

土中用

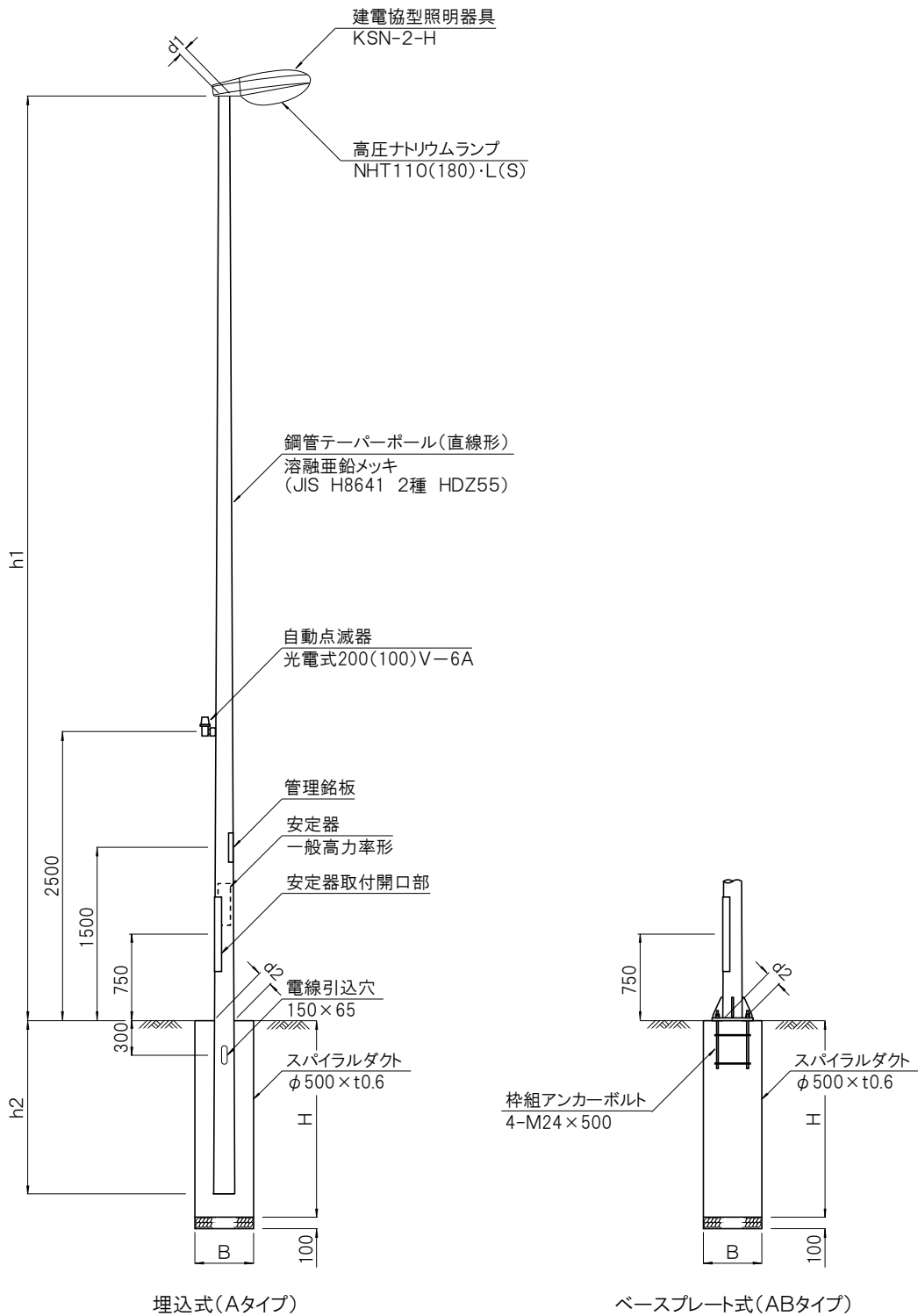


# スノーポール兼用デリニエーター D5(コンクリート建込)

コンクリート用



# 道路照明灯 LP



寸法及び材料表

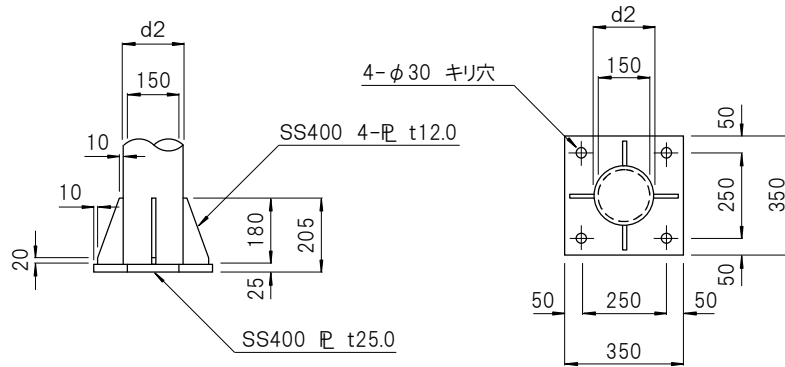
(1基当たり)

記号	寸法表						材料表		
	h1 (mm)	h2 (mm)	d1 (mm)	d2 (mm)	B (mm)	H (mm)	コンクリート $\sigma_{ok}=18N/mm^2$ ( $m^3$ )	型枠 スパイラルダクト (m)	基礎砕石 RC40 ( $m^2$ )
S8-A	8000	1500	85	165	500	1600	0.314	1.600	0.196
S8-AB	8000		85	165	500	1600	0.314	1.600	0.196
S10-A	10000	2000	75	175	500	2100	0.412	2.100	0.196
S10-AB	10000		75	175	500	2100	0.412	2.100	0.196

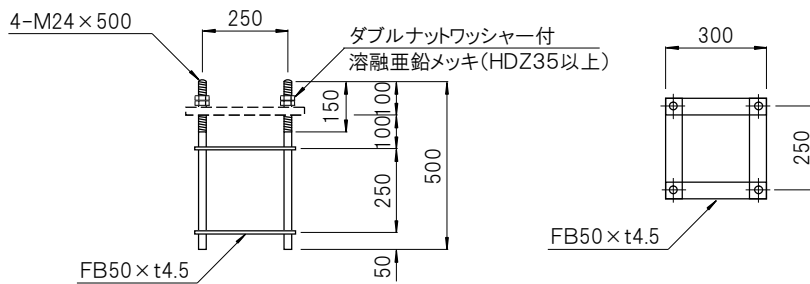
### 注意事項

1. 施工に当たっては、引込み線等の影響を考慮して基礎形状を照査すること。
2. ランプ、照明器具、鋼管テーパボール等各器材の仕様は、道路・トンネル照明器材仕様書（社団法人建設電気技術協会）によること。
3. 道路照明施設の設置に関する運用については、道路工事関係技術便覧（県土整備部道路企画課・道路建設課）を準拠すること。

### ベースプレート

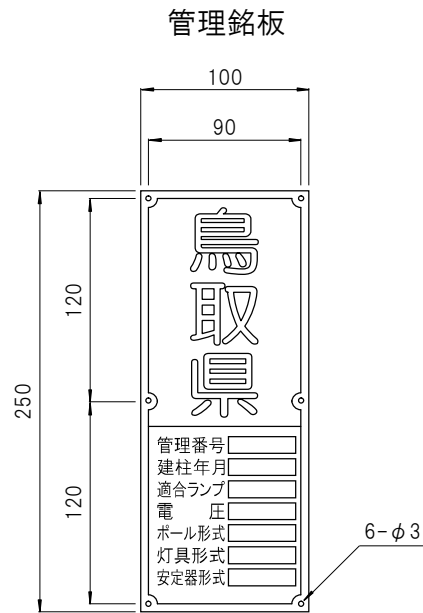


### 枠組アンカーボルト



### 注意事項

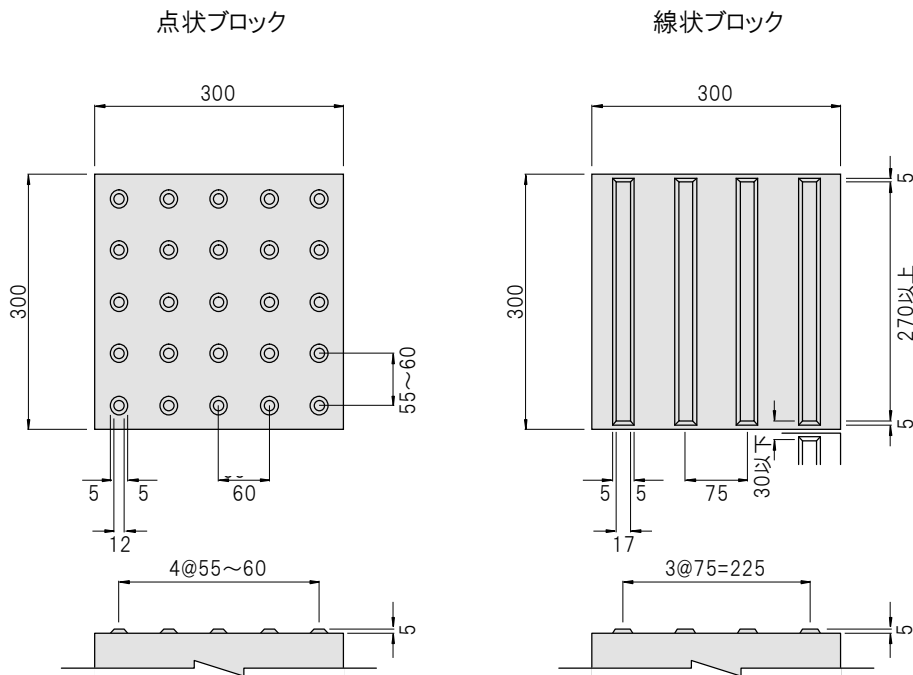
1. 枠組アンカーボルトのネジ部及びナットは、溶融亜鉛メッキ（HDZ35以上）仕上げとすること。
2. 枠組アンカーボルトの露出部分は、ビニルキャップにより保護すること。



**注意事項**

1. 管理銘版の仕様は以下のとおりとすること。
  - 材質：0.3mm SUS304
  - 字体：丸ゴシック
  - 印字方法：文字は薬品腐食による凹字とし、黒色エナメルの墨入れを行うこと。  
未記載文字については刻印とする。
  - 表面処理：全表面に透明メラミン樹脂塗装の吹付処理を行う。
  - 取付方法：ステンレスバンド止めとする。
2. 管理銘版は車道側に設置すること。

# 視覚障害者誘導用ブロック TB



## 注意事項

1. 突起の形状・寸法等は、JIS T 9251 視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列による。